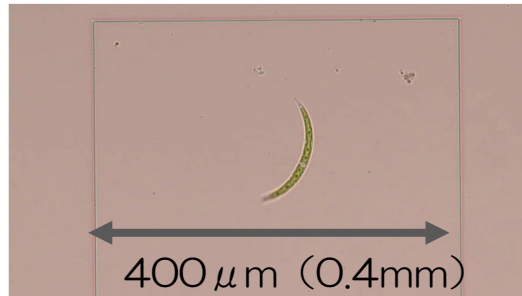
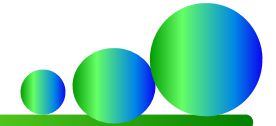


両端にも注目してほしいミカツキモ



動画をご覧ください

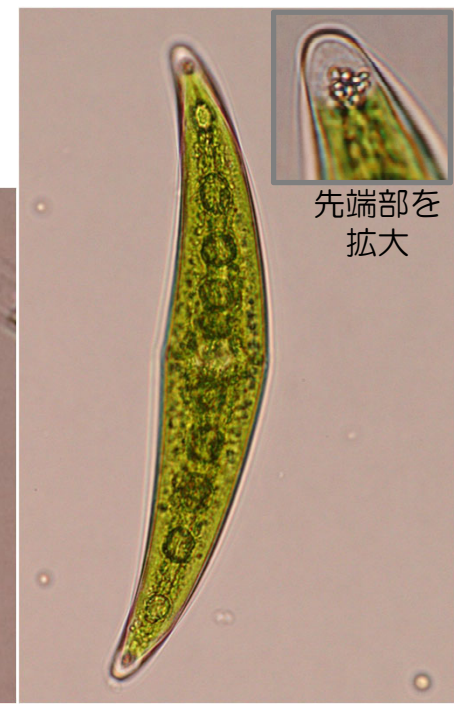
ミカツキモは、霞ヶ浦でもよく見られる緑藻類の1つです。普通は三日月型の形に目がいきますが、注目してほしいのは、三日月の両端です。

端に注目すると、丸い液胞の中にクルクル動くものが見られることがよくあります。これは、硫酸バリウムという物質の小さな結晶で、ブラウン運動※1をしているのだそうです※2。

○動画は、2021年9月30日に霞ヶ浦の湖心で採水された湖水で観察されたものです。

※1「ブラウン運動」とは、気体や液体中で、微粒子が不規則に動いている運動をいいます。

※2出典：「プランクトンハンドブック淡水編」総合出版,2018



霞ヶ浦湖心（2021年9月30日） 霞ヶ浦湖心（2022年1月27日） 新川（2021年10月8日）